

神戸大学ブリュッセルオフィスオープニング記念シンポジウム
「日欧教育研究連携の新時代」

1. 日 時:平成 23 年(2011 年)3 月 3 日(木)~7 日(月)
2. 場 所: Square Brussels Meeting Centre (Mont des Arts - Kunstberg, 1000 Brussels)、
欧州経済社会評議会、ブリュッセル自由大学(ULB)、ルーヴァン・カトリック大学(KUL)
3. 主 催:神戸大学
4. 後 援:文部科学省、外務省、経済産業省、欧州委員会、欧州経済社会評議会、社団法人国立
大学協会、日本私立大学団体連合会、ジェトロ・ブリュッセル・センター
5. 協 力:京都大学、大阪大学、関西学院大学、関西大学、
ブリュッセル自由大学(仏語系)、ブリュッセル自由大学(蘭語系)、
ルーヴァン・カトリック大学(蘭語系)、ルーヴァン・カトリック大学(仏語系)、
ヘント大学、アントワープ大学
6. 参加者:文部科学省関係者、外務省関係者、国立大学法人関係者、日本学術振興会関係者、
在欧日本諸機関関係者、欧州協定校の学長等、欧州委員会関係者、
在ベルギー各国大使館、関係機関及び団体
7. 3 月 4 日(金) 10:00~12:00 日 EU 高等教育政策セミナー (The Arc 150 人収容)
「日欧の高等教育における国際連携」 司会:中村 千春 神戸大学副学長
9:30 開場
9:55 来場者着席
10:00 開会挨拶 福田 秀樹 神戸大学長
10:20 挨拶 Herman Van Rompuy 欧州理事会議長
10:35 返礼挨拶 小田野 展丈 欧州連合日本政府代表部特命全権大使
10:40 講演 Xavier Prats Monne 欧州委員会教育文化総局次長
「国際連携における日本の位置付け」
10:55 講演 Laurent Bocheran 欧州委員会研究・イノベーション総局国際協力局国際協力政策課長
「欧州の研究枠組みにおける日本の位置付け」
11:10 講演 清水潔 文部科学事務次官
「日本の高等教育の状況と政策課題について」
11:25 講演 Paul Van Cauwenberge ヘント大学長
「欧州の学術連携における個々の大学の取り組みと日本の大学の位置付け」
11:40 講演 福田 秀樹 神戸大学長
「新たな時代を迎えた日・EUの学術連携における日本の大学の取り組み」
12:00 昼食会 *欧州委員会主催
8. 3 月 4 日(金) 13:30~15:00 日欧大学ラウンドテーブル (The Arc)
13:30 議長挨拶 福田 秀樹 神戸大学長
13:35 パネリスト 武田 廣 神戸大学副学長
13:50 パネリスト 辻 毅一郎 大阪大学副学長
14:05 パネリスト Jean-Didier LECAILLON パリ第 2 大学副学長
14:20 パネリスト Michael Gaebel 欧州大学協会高等教育政策課長
14:35 コーディネーター 中村 千春 神戸大学副学長
14:50 閉会の辞 福田 秀樹 神戸大学長
9. 3 月 4 日(金) 18:30~20:00 レセプション (Hall 300)
 - 1) 主催者挨拶 小田野 展丈 欧州連合日本政府代表部特命全権大使
 - 2) 挨拶 福田 秀樹 神戸大学長
 - 3) 挨拶 清水潔 文部科学事務次官
 - 4) 挨拶 欧州委員会教育文化総局

10. 研究セッション

3月3日(木)13:30~18:30 欧州経済社会評議会

「サバイバルと持続性の狭間—経済危機下における企業の社会的責任」

【概要】

日欧企業は、いずれもその活動が持つ経済的側面、社会的側面、及び環境的側面をいかにバランスするかについて考慮している。CSR（企業の社会的責任）の重視である。本シンポジウムでは、CSR に関する日欧企業のベスト・プラクティスが紹介され、互いに教訓を得ることが可能かどうか論じられる。

【参加者】

Ms Eve Päärendson 欧州経済社会評議会
Mr Sandy Boyle 欧州経済社会評議会
Prof Silke Bustamante ベルリン経済法科大学
Mr Pedro Ortun 欧州委員会企業・産業総局 (tbc)
Mr Richard Howitt 欧州議会(tbc)
Mrs Vladimira Drbalová 欧州経済社会評議会
Ms Yukako Kinoshita, Japan Business Council in Europe
Mrs Laure Batut 欧州経済社会評議会(tbc)
Mrs Evelyne Pichenot 欧州経済社会評議会
久保 広正 神戸大学経済学研究科教授
國部 克彦 神戸大学経営学研究科教授
関根 由紀 神戸大学法学研究科准教授

3月4日(金): Square Brussels Meeting Centre

13:30~18:00 (Room 311)

「プロテインキナーゼ C: 神戸大からの鍵分子」

【概要】

プロテインキナーゼ C は 1977 年に神戸大で発見された。様々な細胞反応において鍵となるこの PKC 分子は、細胞の分化、増殖さらには神経機能にまで関与している。本シンポジウムでは、この PKC 研究の最近の進歩についてフォーカスすることにより、神戸大学と EU 各国の大学との交流や共同研究を推進するきっかけとなることを願う。

【参加者】

Prof Godefridus Peters アムステルダム自由大学メディカルセンター
Prof Isabel Merida, Spanish National Research Council (CSIC)
Prof Matthijs Verhage アムステルダム自由大学メディカルセンター
Assoc Prof Fabienne Willems ブリュッセル自由大学(ULB)
齋藤 尚亮 神戸大学バイオシグナル研究センター教授
白井 康仁 神戸大学農学研究科教授

3月4日(金): Square Brussels Meeting Centre

15:30~18:00 (Room 313)

「欧州統合におけるベルギー・オランダの歴史的役割」

【概要】

今日、ブリュッセルはヨーロッパの首都と見なされるようになっている。しかし、それがいかなる中心性をもつかを理解するためには、中世末期より現代にいたるヨーロッパ統合の過程において低地地方（現在のベルギーおよびオランダ）が果たしてきた歴史的な役割の中で考える必要がある。そこで、本シンポジウムでは、低地地方の黄金時代である 14~17 世紀の中心都市の機能に焦点をあて、低地地方がヨーロッパ統合において果たした役割について考察する。

【参加者】

Prof Wim Blockmans ライデン大学
Prof Bruno Blonde アントウェルペン大学
Prof Clé Lesger アムステルダム大学

Prof Herman Van der Wee ルーヴァン・カトリック大学(KUL)
Prof Peter Spufford ケンブリッジ大学
奥西 孝至 神戸大学経済学研究科教授

3月4日(金): Square Brussels Meeting Centre
13:30~18:00 (Room 314)

「バチルス菌のバイオテクノロジーとその未来展望」

【概要】

日欧の別を問わずバチルス菌の研究はバイオテクノロジーの発展をリードしてきた。その過程には欧州 BACELL プロジェクトなどの国際協力の成功を内包しつつ、今後もますますの進展を予見させる。このセッションでは当該分野の専門家5名を迎えて、それぞれに研究の経緯を交えつつ成果をご紹介いただき、将来展望について議論する。

【参加者】

Prof Colin Harwood ニューキャッスル大学
Prof Jan Maarten van Dijk フローニンゲン大学
Dr Philippe Noirot フランス国立農業研究所
Prof Bernard Joris リエージュ大学
吉田 健一 神戸大学農学研究科教授

3月5日(土) 13:45~17:30 ブリュッセル自由大学(ULB)

「ヨーロッパ統合の基層における文化の役割」

【概要】

EUという Nation-State をこえた共同体の構築過程で、文化がどのような役割を果たすのか。統合の紐帯としての肯定的役割は想定されるが、同時に統合の内と外との新たな障壁を生みだし、摩擦や対立を促す否定的な側面も考えられる。EU統合において文化が果たしている、こうした両面の機能を追究する。

【参加者】

Prof Helmut Eberhart グラーツ大学
Assoc Prof Gilles Ferragu ナンテール西パリ大学
Mr Salvatore Somma ナポリ東洋大学
Prof Paul Aron ブリュッセル自由大学(ULB)
Prof Isabelle Meuret ブリュッセル自由大学(ULB)
阪野 智一 神戸大学国際文化学研究科長
岩本 和子 神戸大学国際文化学研究科教授
坂井 一成 神戸大学国際文化学研究科准教授
寺尾 智史 神戸大学国際文化学研究科助教
松井 真之介 神戸大学国際文化学研究科協力研究員

3月7日(月)10:00~18:00 ルーヴァン・カトリック大学(KUL)

「情報及びロボット技術(IRT)による医療・福祉分野への貢献を目指しての日欧間の技術交流
—身体的支援から認知的支援へ—」

【概要】

情報技術とロボット技術の融合技術(IRT)は、これからの高齢化社会において人々の物理的な支援だけでなく、認知的な支援を担うために重要な役割を果たすと期待されています。

欧州諸国は医療及び福祉の分野において、先進的なIRTに関連する多くの研究開発が現在も進められており、神戸大学においても健康工学をテーマに据えた研究グループが形成されています。この研究グループは、工学研究者だけでなく医学や保健学の研究者も参画している学際的なもので、健康増進や福祉のためにIRTを効果的に利用することを目指しています。

このワークショップでは、欧州と日本との間で、IRTを医療福祉の分野に役立てるための意見交換を行うとともに、今後の共同研究の可能性についても議論します。

【参加者】

Ms Marie-Elisha Lerouge, Verhaert Masters in Innovation
Dr Eric Demeester ルーヴァン・カトリック大学(KUL)
Dr Bernard Pauwels, In-HAM VZW
Prof Herman van der Kooij トウエンテ大学
Dr Thierry Janssens ルーヴァン・カトリック大学(KUL)
Assis Prof David A Abbink デルフト工科大学
Prof Herman Bruyninkcx ルーヴァン・カトリック大学(KUL)
Dr Stephan Pascall 欧州委員会
Dr Greet Bilsen, Leuven Research & Development
Dr Stijn Delauré, DOC ルーヴァン・カトリック大学(KUL)
Dr Sarthak Misra トウエンテ大学
Dr E Vander Poorten ルーヴァン・カトリック大学(KUL)
横小路 泰義 神戸大学工学研究科教授
羅 志偉 神戸大学システム情報学研究科教授
川口 博 神戸大学システム情報学研究科准教授

11. 「日欧教育研究連携の新時代」ポスター展

3月1日(火)～7日(月) 在ベルギー日本大使館広報文化センター

出展大学: 神戸大学、京都大学、大阪大学、関西学院大学、関西大学

【概要】

本ポスター展に参加する関西の5大学(神戸大学、京都大学、大阪大学、関西学院大学、関西大学)は、EU(欧州連合)に関する教育・学術研究の促進、広報活動の推進や情報発信を通して、日・EU関係の強化に貢献することを目的とした大学コンソーシアムであるEUインスティテュート関西(EUIJ関西)の連携校である。

今回のポスター展では、各校の大学概要や各校において実施される卓越した研究等を紹介し、EU域内の研究者、学生等に日本の教育・研究力をアピールする。

以上